

第2回幼稚園再編に係る地域協議会(なばた幼稚園) 会議録

日 時:令和3年3月26日(金)15時から

場 所:なばた幼稚園リズム室

参加者:森本座長、開発委員、白石委員、吉長委員、森委員、桐生委員、鈴木委員、城山委員、福井委員、井上委員、井村委員、中森園長、坂谷次長

事務局:、奥田部長、松田課長、松本指導主事、生水(会議録作成者)

傍聴者:7名

<開会>

座長挨拶

次第1 生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方で示された再編案に対する意見聴取の概要

事務局説明(別紙資料1のとおり)

事務局説明(別紙資料2のとおり)

座長 これまでに集まった意見を資料にまとめていただいたものである。

次第2 原案に対する追加意見について

座長 続いて次第2。今の意見以外にも届いている意見はあるか。また、現在の意見聴取の進捗状況も教えていただければ。なばた幼稚園育友会で現在集めているということなので、説明してもらえるか。

委員 市のまとめた意見と被る部分もあるが、在園の保護者の意見としては「バス代は市が負担してくれるのか。統合により用品はどうなるか。」といった経済的な意見や、「壱分幼稚園が土砂災害警戒区域にされているのに、そちらに行くのか。」「通園が遠くなる、壱分幼稚園まで災害時に迎えに行くのはしんどい。」「こども園について、生駒市は1号から2号になった時に転園になる可能性があるので、こども園を増やしても意味がない。」といったものがあつた。次に未就園児がいる保護者からは、「再編について、どのくらいのスパン・検討期間を考えているのかがわからない。」「いつ頃の統合を考えているのかなど、進捗状況について教えてほしい。」といった意見があつた。

座長 他の団体でもなにか意見等はあるか。だいたい先ほどの事務局の説明と重なる意見と考えてよいか。

園長 なばた幼稚園未就園児の集いが2月末にあり、アンケートを配っている。4月の入園時に集める予定なので、また後日報告する。

座長 他にもあるか。

委員 重複になるかもしれないが、なばたこども園をつくってほしい。駐車場もある。教育者の立場としての意見になるが、現在生駒市全域で学校運営協議会が発足している。その狙いのひとつは地域の将来を担う人材の育成。地域の者が学校教育に関わりながら、またこの地域に戻ろう、地域でがんばろう、地域で何かしたいという様な子ども達を育成しようといったものである。幼児期はなばた、児童期は東小学校、少年期は緑ヶ丘中学校という繋がりだが、その幼児期の部分が失われることになると、どうなってしまうのかという不安はある。地域への愛着が失われるのではないだろうか。これは文科省がやろうとしていることに相反すると考える。住民の立場から意見するが、園名や制服を壺分側に寄せてしまうと、卑屈な気持ちになる。小学校区の教育の軸足が壺分のほうに移ってしまうのではないかと思う。私自信の僻みかもしれないが、この地域に40数年住んでおり、強く思うところがある。後で落胆しないように、十分に配慮をしていただけたらと思っている。私の本当の意見はこのまま存続し、こども園化。仮に原案のとおりに進むとするならば、子どもも住民も卑屈な気持ちにはならないようにしてほしい、それが教育においても大事なことだと思うのでお願いしたい。

座長 私の地元ということもあり、ここでこういう意見を言うのが正しいかはわからないが、なばた幼稚園と壺分幼稚園が再編されこども園化したとしても、なばた幼稚園が壺分幼稚園に吸収されてしまうようなイメージになるのは困る。財政的なことや、地域の中の幼稚園としての役割も考えていかななくてはいけないが、どういう形が子ども達にとって一番良い教育になるのか。そこを一番に考えなくてはならないと思う。そういう部分でも貴重な意見である。

委員 なばたのこども園化には賛成。私もちょこちょこボランティアをしているが、子どもから声をかけてもらえることが何よりエネルギーになる。壺分になったらもう誰も通らないと思う。やはり統合でなくなばた幼稚園のこども園化を。住宅開発が進んで、また子どもの人数が増えてもいけない。今すぐに統合するのではなく、なん

とかまずこども園化して残してほしい。壺分は遠く、ボランティアに足を運ぶ気がなくなってしまうかもしれない。

座長 こども園化や東小学校との幼小連携のコミュニティスクールという意見はできてきている。それもありがたい意見ではあるが、地域協議会は教育委員会で示された原案に対する課題について話し合い、原案に対する意見書を教育委員会へ出すことが、大きな目的のひとつである。したがって、まず今回は原案についての協議をしたい。こども園化や幼小連携については、付帯意見として意見書にのせることができればと思っている。

委員 今の意見には大反対。生駒市は今回の統合について納得できるように話合っ
てほしいと、そのように感じた。私は友人から壺分幼稚園のほうでは親からの意見
聴取はないと聞いている。なばただけ意見聴取するということは、なばたを廃園する
つもりだからではないのか。なばた存続の意見もでている状況で、なばたと壺分を
吸収合併するという前提のもとに話し合いをするということであれば、保護者として
納得はできない。個人の意見としては吸収合併反対。この場はどうしたら子どもの
負担がなくなるのかを協議するべきであり、なばたと壺分の合併を話す場ではない
と思っている。

座長 子どもにとって一番良い環境は何か。話し合いの根本はそこだと思っている。
生駒市学校教育のあり方検討会というところにおいて、一番良い教育はどのような
ものかについて 3 年間かけて出た意見を尊重し、教育委員会の原案となっている。
3 年かけた意見を覆して、また1から新しい議論をすとなれば大変なことだと思う
がどうか。

委員 原案は決定事項ではない。様々な意見を意見書の中にどのように書いていく
かというのは次のステージ。統廃合してそれで終わりというものではないし、統廃合
を納得してくれという会でもない。どのようにこども園化するかについて、公立なの
か私立なのか、またこども園化といっても生駒幼稚園のような幼稚園型というのも
あれば、生駒市立にはないが 0 歳から 5 歳まで対象の幼保連携型などいろんな種
類がある。それらは次の段階で話していくこと。また、先ほどの幼稚園から中学校ま
での連携が分断されるという意見について、生駒市の取組の紹介になるが、あすか
野幼稚園にはあすか野小学校と真弓小学校に行く園児がいる。それぞれの地域の
方々が行事の際に来てくれたり、それぞれの地域で連携して防災訓練したり、幼小
接続でそれぞれ進学先の学校と連携したりしている。保育園にはもっと色々な小学
校に行く園児がいるが、たとえ2,3人しか進学しない小学校であっても連携は行っ

ている。

座長 原案は決定事項ではないということを前提に考えてほしい。原案に課題が多ければまた検討しなければならないということになると思う。申し訳ないが、今日は原案について協議していただいて、こども園化などについてはまた次回以降というふうに考えている。

委員 資料を見ていると、統合を前提としている意見が多く見られる。原案については3年かけて議論したということだが、なばた幼稚園が東小学校と一体化する案はなぜこの案に負けたのか。また、東京では老人ホームと幼稚園が一緒になっているところもある。そのようにしてここに幼稚園を残すという選択肢はたくさんあるはず。それをまず議論すべき。今日は時間がないということであれば、次回の会議は「なばた幼稚園をどのように残すか」を議題にしてはどうか。今は統合を前提と議論しているからまとまらないので、まずは何が最善か議論すべきでは。何が正しいかもわからないので、いったんこども園化でいくというのであればそれでも結構だが。市のほうでこども園化に対して、財政的な問題があるのか。

委員 こども園化を考える場合、まず保育園は保育時間が長い。朝の7時から夜の7時までの12時間開ける必要がある。そうすると先生方はシフト勤務となる。0歳～2歳を受け入れる園ということになると、3人の幼児につき1人の先生が必要となる。となると単純に幼稚園の2.5倍～3倍の先生の数が必要となる。また給食設備の設置や、トイレ、ほふく室の設置も必要となる。それらを公立で行う場合は全て市の負担となるが、民間の力を借りて運営するとなれば、国の補助が大きくもらえる。ここを保育・幼児教育のサービスの場として残すという希望を意見書としてあげてもらえれば、次の段階として、じゃあどういふものがあるのだろうかを検討する。例えば先ほど意見にもあったが、全国では社会福祉法人の運営する保育園・こども園が高齢者施設と一緒にあって成果をあげているのもある。こども園化と言ってもたくさん選択肢があるので、なばたのこども園化や就学前施設への活用など意見書に盛り込んでもらえれば、次のステージで教育委員会が中心となって検討し、今後懇話会の中でつめていくということになるかと。

委員 お金がかかるのはわかる。自治会内のソフィアは0歳児からなので、壱分と一緒にするならばそちらと統合してはどうか。民と官という課題もあるかもしれないが、そういうのを考える場が必要である。お金の話で公立幼稚園を減らしていくと小学校もどんどん減っていくということになる。今は小学校の子も大阪まで塾通いしており、徒歩圏内にあるという必要は無い。親としては安心かもしれないが、ソフィア

に1時間かけて通わせている人もいます。それだけ時間がかかっても保育園に預けた
い、そういうニーズがある。そのような根幹部分の議論はどこまで詰まっているのか
が疑問。今の状況ではいくらでも対案が出てくる。まあ財政が苦しいのはわかる。そ
ういう部分を話し合う会や場所が必要だと思う。

座長 私の個人的な思いだが、このままとなれば幼稚園の園児は 10 人くらいに
なってしまう。そういった中での幼児教育は、よく目が行き届いて手厚い保育ができ
るという利点もあるが、たくさんの子どもの関わりや、集団での行事で身につける
べき力がつかないという課題がある。壱分幼稚園も園児がたくさん増えるという見
込みがないので、子どもたちの教育を考えたときに、たくさん的人数で多様な教育
ができる方法を検討した結果が、この原案ではないかと思っている。しかし、なばた
のこども園化について検討する時間も必要ではないかと思う。事務局はどうお考え
か。

事務局 教育委員会に提出する意見書に盛り込む際に、結論だけ書くのではなく、
地域協議会で議論して付帯意見として根拠などもつけてキッチリ記載するというこ
とであれば、議論する場や時間を設けてもいいかと思う。

座長 こども園化したときに、こういうメリット・デメリットがあるというのを協議会の
意見書にまとめていくということによろしいか。

事務局 次第3 原案に対する意見を踏まえた課題の整理について
資料3について説明

事務局 会議の中で協議するのは時間的に厳しいので、表右側の「考えられる対応
について」は次回以降考えてもらえたらと思う。今回は課題整理ということで、事務
局があげた課題が間違っていないか確認し、追加の課題等もあればあげてほしい。

座長 あげられた課題について何か意見はあるか。

委員 前回南こども園ではいろんな問題解決したとあったが、そのときに実際起き
た問題があればそれを加味して考えていくのがいいのではないかと思う。

座長 確かに統合するうえで同じような問題がでてくると思う。事務局のほうで課
題などあれば提示できるか。

事務局 南こども園は、南幼稚園の跡地に南こども園を建てて、そして隣にあった南保育園と一緒にしたものだ。なので、通園先としてはほぼ変わらなかった。幼稚園同士の統合という今回のケースとは異なるが、保育園と幼稚園が一緒になることで保護者の時間帯が変わったり、保育時間が違ったりする問題はあった。ただ、今は先生方の協力もあって、うまく運営できている。

委員 跡地はどうなったのか。

事務局 跡地については、園庭と駐車場に整備された。

座長 南こども園は保育園と幼稚園が一緒になったパターンということで、違う部分はあると思うが、共通の課題もあると思う。どんな課題があったか提示してもらいたい。また、意見として出ていた「肩身の狭い思いをしないか」という点も課題になるのではないかな。なばたの入った園名にするとか、制服を作り直すとか、新しい体制で二つの幼稚園が合わさってこども園になったのだ、という体制作りも課題になるのではないかなと思う。他に何か課題に入れるべきものはあるか。

委員 この意見書はいつまでに出すのか。

事務局 正式に期限は決まっていないが、5 回程度の協議会の会議を経て、意見書を提出していただければと思っている。意見の集まり具合にもよる。

委員 行政のスタンスとしては合併ありきということによろしいか。

事務局 再編について地域の方がどういう考えを持っているかの意見書を踏まえて、市長と教育委員会が懇話会を開催する。出された意見書を基に進めていく。急いでいるということではない。いろいろな意見を聞いて、市長と教育委員会でつめていかななくてはいけないと思っている。原案への反対については意見書に盛り込んでいただいて、新しい意見についても付帯意見としてつけていただきたい。この地域協議会の意見を尊重して判断していかなくてはいけない。お金の話という部分については、もしこども園化するとなれば園舎のことなど予算を確保しなくてはならない。ただし、教育委員会は予算を持っていないので、そこは折衝していかなくてはならない。こういうことがしたいので市に予算を要求するという段階。意見書を持ってすすめていくにあたって、まず原案に対しての意見をまとめていただきたい。地域協議会ではこういう意見があると、まとめていただきたい。

委員 今出されているのは合併する場合のみの問題点であり、その合併という結論の部分について協議する場はないのか。もし統廃合で決定しているのであれば、それについて話し合うことは大きなストレス。廃園で決まっているのならばハッキリそう言っていただいたほうが諦めもつく。次回はこども園化などについても話し合うということであるが、最終はお金の問題だと思うので、それならばもう諦めて統合する際にどうしていくのかを話し合いたい。お金がなかったら仕方が無いとは思っている。ただ、「こういう方法もあったのに言わなかったので統廃合となる」のであれば次からもうこんな会議には出席したくない。この原案ありきならばもうストレスで仕方がない。正直この原案に賛成の人はいないと思うが、原案に反対ならばどういう意見を出せば原案に対抗できるのか教えてほしい。教育委員会は、一発で決定せずに間に入って苦労しているのはわかるが、もう原案で決まっているのならばきちんと説明する場を設けるべき。説明の場がないと円滑に進まないのでは。私たちは不信感を持っている。

座長 なばたをこども園化すると子どもが増えるのか、私立にするのか、いろんな意見があると思うが、約 2 年にわたって幼児教育にとってふさわしいものを話し合った結果でてきたのが原案だと思っている。ただ、これは検討委員だけで話し合っただけで決めたもの。なので、課題や問題点について地域協議会で協議していただいて、他にもなばたのこども園化がいいと思うならそういう案を意見として出して、最後に市で検討してもらえば良いのではないかと。ですから、もう辞めたいなんて言わないで、子どもにとって良い教育は何なのか、原案に課題はないのか話し合っただけで、案を対案として出していけばいいと思う。

事務局 協議会について予定では第 5 回までとなっているが、今回の第 2 回では事務局で分類した原案に対するご意見への対応について考えていきたいと思っている。第 3 回については原案以外の案についても協議できたらと思う。原案についてすぐに反対というのはわかるが、最終的な意見書には「原案はこうだが、地域としてはこう考えている。そして新しい考え方としてこういう考え方がある。」といった意見書を出していただければ。そして、幼小一体とか、福祉施設と一緒にするということも意見書に踏まえていただけたらと考える。

座長 次の第 3 回は原案も意識しつつ、他の方法についての協議も次第に入れていただけたらと思う。

委員 事務局から何か情報提供がないと各委員も意見しにくいと思うので、こども園の種類など様々な情報提供させていただくということで準備を事務局にお願いし

てよろしいか。

委員 山下市長は子育て世代に優しい街づくりを掲げていた。明石市は成功している。元々はそういう目標だったはず。これは市全体の話だと思う。そういうのを用意してほしい。

委員 南こども園もメリット・デメリットあるが、南はいい条件がそろっていた。話が平行線なので発言させていただくが、なばた霊園の東側を開発するにあたり、危険区域がたくさんある。よって、思ったよりも建物が建てられない。マンション計画も頓挫した。開発の目途がつけば、また説明するが現状はゼロ。何もできていない状態でいうのもおかしいが、後に住宅地ができることは違いない。また学童についてだが、第1に61人、第2に58人の二箇所。利用できるのはありがたいことだが、将来的に教育者がどうなるかは知りたい。

委員 今あったように中菜畑郵便局の前に山があり、買収の話が出たり消えたりしているが、そこも住宅地になればまた家が増える。1年2年で進む話ではないが、長い目でみたらなばたも存続できるのではないかと、長いスパンで見れば壺分とくつつかなくても良いのではないかと、そう思っている。地域協議会で会議を5回やって、意見書を出して市長判断してくださいとなる。市長が判断してやるべきことだと思う。

座長 原案の背景であるあり方委員会の答申についてお配りしてはどうか。なぜ教育委員会がこのような原案を作ったのかが理解できると思う。

事務局 早急にお送りさせていただく。

事務局 それでは次回は課題への対応策を一応考えていただいて、一部修正や追加の課題、別案についても協議いただけたらと思う。また、財政面や駐車場など考えられる課題も一緒に協議していただけたらと思う。

事務局 次回の日程は5月17(月)の15時から、なばた幼稚園リズム室ということで決定する。

<閉会>